令和6年度 秋葉区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和7年3月25日(火) 午後1時30分～午後3時50分
会場	○秋葉区役所6階
出席者	○秋葉区自治協議会委員：24名（欠席2名） ○事務局：教育総務課長 学校支援課地域クラブ活動推進室長 秋葉区教育支援センター所長 ○区役所：14名(区長、副区長、地域総務課長 他) ○傍聴者：1名
議事	1 説明 「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～」 「中学生のための地域クラブ活動 推進方針」 2 質疑応答
司会（中島会長）	着座にて進行させていただきます。今日は大変内容が盛りだくさんでございまして、スムーズな進行に努めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。 それでは、次第に基づいて進めてまいります。次第の3、報告でございます。「新潟市教育振興基本計画 ～にいがた学びのコンパス～」について、そして「中学生のための地域クラブ活動」についてです。前段を教育総務課課長、そして後段を地域クラブ活動推進室室長、お二方から続けて報告をしていただきます。その後、質疑応答の時間を大体20分ぐらい、今日送別会も後に控えていますので、大体20分ぐらいマックスで取りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、まずは新潟市教育振興基本計画、こちらについてご報告をお願いいたします。
教育総務課長	皆さん、こんにちは。新潟市教育委員会教育総務課の渡辺と申します。本日は、貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。私からは、今年度新たに策定をいたしました「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～」につきましてご説明させていただきたいと思っております。 まず初めに、こちらのスクリーンのビジョンと、お手元に資料1ということで紙の資料も用意させていただきました。見やすいほうで見ていただければと思います。よろしくお願いいたします。 では、まず初めに、本市におきましては、平成18年に現行のビジ

ョンであります新潟市教育ビジョンを策定し、基本目標を学校教育、生涯学習、教育行政の視点からお示しし、目指す方向につきましても、こちらの3つの視点でお示ししたところでございます。また、次代の新潟を支え、世界に羽ばたく心豊かな子どもを育み、市民が生涯を通して学び育つ社会づくりのための教育の方向性と在り方、こちらを明確にしていまいりました。なお、基本構想を実現するために、これまで実施計画というものを4回、4期にわたりまして策定して今日に至っているという状況でございます。特に本市特有の大きなテーマといたしまして、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり、こちらを掲げまして様々な施策事業を推進し、学校と地域が協働する取組を進めてきたほか、本市の強みである農業や文化、子育てなどとも連携し、本市の特色ある教育を進めてまいったところでございます。

これまでの取組の成果につきまして、市民の皆様の声をお聞きするため、昨年度アンケートを実施させていただいたところでございます。中でも評価をいただいている分野といたしましては、情報教育の充実・ICTを活用した教育の推進、保護者や地域と連携した安心安全な学校づくりの推進、地域と共にある学校づくりの推進の順番となっております。一方ですが、取組があんまり進んでいないと思われる面では、教職員への支援体制の充実、教育関連施設の整備・充実、家庭教育・子育て支援の充実という結果になっております。

同時に、子どもたちからも自由記載のアンケートを実施いたしました。回答につきましては、自由記載のうち出現回数が多いほど図に示されているように言葉が大きくなっているというものでございます。例えばこちらですけれども、設問1、「あなたが将来のために学びたいことや挑戦したいことは何ですか」という問いに対しましては、どの学年も「英語」というものが大きく出ております。このほかにも、「コミュニケーション」という言葉も見えているというところでございます。こういったことから、今後も子どもたちの英語力を高めるというところ、あとはコミュニケーション力、こちらを高めるということが必要であると考えております。

次に設問2になります。「みんなが幸せに過ごすために、あなたはどのような力を身に付けるとよいと思いますか」という設問ですが、こちらはどの学年においても「思いやり」というものが真ん

中に来ております。また、このほかにも、先ほども出ましたが、コミュニケーションというところが高い位置になるということが見てとれます。こういったことから、今後も心の教育を大切にする必要があると感じております。

次に、設問3です。こちらにおきましては、地域や社会のために貢献したいことについてです。いろいろとございますけれども、やはりボランティアというところが大きく出ていると見てとれます。改めて地域との絆を深めて、地域への愛着、誇り、これを醸成することが大事であろうと考えております。

設問4、こちらは「あなたが安心して過ごすことができる学校は、どのような学校ですか」という設問です。ここでも共通して「いじめがない」という言葉が挙がっております。このような結果からも、誰もが安心して過ごすことのできる学校づくり、これが大事だろうと考えております。

このように、策定に当たりましては、市民の皆様、子どもたちの声のほか、教育ミーティングでいただきました自治協の皆様の声、こちらを参考としながら、このたび新しい教育振興基本計画を策定したところでございます。

では、その新しい教育基本計画の内容でございます。こちらは、まず1番目でございます。策定の趣旨、位置付け、構成についてです。本市では、先ほど申し上げましたように平成18年に現行の教育ビジョンを策定いたしまして、様々な取組を進めてきたところでございます。しかしながら、皆様ご存じのように、少子高齢化の加速、グローバル化のさらなる進展など、社会を取り巻く環境が大きく変化していく中、これまでの成果や課題などを踏まえまして、このたび新たに本市の教育の方向性を示す計画を策定したところでは、

計画期間でございますが、令和7年度から8年間となっております。基本構想におきましては、本市の教育が目指す人間像、基本計画では基本構想の実現に向けた基本的な方向性、実施計画では基本計画を具現化する各種事業を記しております。

右側になります。全国的な動きでございますけれども、グローバル化の進展、あとSociety5.0といったものが最近言われてきております。そういった教育を取り巻く状況が変化してきているという状況の中で、国におきましても第4期の教育振興基本計画を策定したというところでございます。

新たな計画におきましては、本市の強みである「さまざまな困難を乗り越える力」「充実した地域の力」「人材輩出の下地」、こういった本市の強みを踏まえるとともに、これまでの取組における成果や課題、これを踏まえまして計画を策定しております。

具体的な課題といたしましては、真ん中にありますように、将来の夢や目標をもつこどもの割合というものが残念ながら減少傾向になっております。また、生涯学習ボランティアの高齢化や固定化、不登校児童生徒の増加などが挙げられてもおります。教育に関わる課題というものが多様化、複雑化しているという現状でございます。

そのような中、一番下にありますように、「生まれてから一生涯を見通した幅広い視点で新潟市民の生活が心身ともに豊かになる教育」「誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育」、こちら2つをコンセプトにさせていただき、本市の教育が目指す人間像を「しなやかに 世界と未来を 創る人」と設定をさせていただいたところでございます。なお、「しなやか」という言葉には柔軟性というような意味ありますけれども、我々といたしましては、粘り強さ、たくましさ、そういった意味も含んでいるというふうに考えております。また、世界というものは、グローバルな世界もありますけれども、自分が関わる身近な地域社会、こちらも表しているというところでございます。既成概念にとらわれず、主体性と挑戦する気概をもち、新たな価値を創造しながら、しなやかに世界と未来をつくり出していくことができる新潟市民であってほしいという願いを込めております。

そして、この本市の教育が目指す人間像の実現に向けまして、4つの基本的な方針の下、14の基本施策を定めまして、総合的、体系的に取組を進めてまいりたいと考えております。

少々具体的な内容でございます。4つの基本方針のうちの基本方針Ⅰ「生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり」では、これからの時代、年齢を問わず学び続け、夢や希望に向かって挑戦し続けること、生涯学習を通じて自らを高めることが大切であり、教養を高めることや健康に関心をもつことなどがウェルビーイングの向上につながってまいります。

4つの基本施策がございます。基本施策1では、多様な学習機会の提供、循環型生涯学習の推進に一層力を入れるとともに、基本施策2では、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた取組を

進めてまいります。基本施策3では、子供たちが夢や希望に向かって挑戦し続けられる取組を進めるほか、基本施策4では、自らの健康に関心を持ち、主体的な健康づくりができるよう支援していきたいと考えております。

少し補足、具体的な内容につきまして補足をさせていただきます。例えば基本施策1では、生涯学習ボランティア育成事業などを実施し、市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習を推進してまいります。

基本施策2では、こども一人一人の確かな学力を育成するために教育活動を充実させるとともに、本市の特色であるアグリ・スタディ・プログラムに基づく体験学習を通じた学力の育成にも力を入れてまいります。

基本方針Ⅱ「豊かな人間性と高い志を持ち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり」では、市民一人一人がお互いを尊重し、認め合い、多様性のある社会を実現していくことが重要であり、豊かな人間性と高い志、協働による新たな価値の創造は持続可能な社会の維持、発展につながると考えております。

こちらの基本施策、4つございます。基本施策5では、様々な違いを認め合い、共生する社会の実現を目指すほか、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めるとともに、基本施策6では、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進めてまいります。また、自分らしく学び成長する特別支援教育、こちらも推進してまいりたいと考えております。基本施策7では、歴史や文化などへの理解を深め、諸外国の人々と互いの文化などを理解し合い、信頼関係を築くとともに、基本施策8では、自信と誇りをもって生きることができる教育を進めてまいりたいと考えております。

具体的には、例えばですけれども、基本施策6では、不登校、不登校傾向対策事業など、多様な児童生徒の学びを保障するための居場所づくりや、安心して過ごせるための環境づくりを進めてまいります。

基本施策7では、国際交流推進事業など、日本や諸外国の歴史や文化などに対する理解を深め、諸外国の人々と互いに信頼関係を築けるような教育を推進してまいります。

基本方針Ⅲ「地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり」では、地域課題の解決につながる実践的な学びなどを通して郷土への誇りや貢献意欲を醸成してまいりま

す。

こちらは、基本施策3つございます。基本施策9では、ネットワークづくりにより社会の変化に応じた教育活動を改善するほか、豊かな体験活動や多様な学習機会を提供するとともに、基本施策10では、本市の特徴である農業をはじめ、歴史や文化などの本市の魅力に気付き、ふるさとへの誇りを培う取組を進めてまいります。基本施策11では、子育て中の保護者も安心して学べる機会などを提供するほか、悩みを共有できるような仲間づくりなどの取組を進めてまいります。

例えば基本施策の9では、地域とともにある学校づくりの事業を実施しまして、学校と地域が連携してこどもの学びと成長を支えていきたいと考えております。

基本施策11では、ブックスタート事業など、乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携し、発達段階に応じた効果的な取組を進めてまいりたいと考えております。

基本方針Ⅳ「多様な学びを支える教育環境の整備・充実」では、安心して学びに向かうことができる教育環境を整備するほか、教育関係職員が専門性を高め、その力を発揮できる体制を整備、支援してまいります。

基本施策12では、教育機会の確保に努めるほか、中学生が継続してスポーツ活動などに親しめる環境整備を進めるとともに、基本施策13では、こどもたちが学びのコミュニケーションツールとしてICT機器を活用できるよう、指針等の作成や必要な環境を整えてまいります。基本施策14では、全ての教職員がいきいきとこどもたちと向き合うために、学校や地域などが一体となって働き方改革を推進してまいります。

例えば基本施策13では、教育DX環境整備事業などを実施し、こどもたちが学びのコミュニケーションツールとしてICT機器を活用できるよう、環境の整備や教職員研修を実施してまいります。

基本施策14では、多忙化解消対策の推進など、市民に信頼される教職員を育成するとともに、教職員がいきいきとこどもたちと向き合うために、保護者や地域が一体となって教職員の働き方改革を推進していきたいと考えております。

以上が新潟市教育振興基本計画の主な概要となります。この計

	<p>画を本市の学びのコンパスとし、教育を通じて市民の皆様が豊かで幸せな人生が送れる社会、これを目指し各種事業を展開してまいりたいと考えております。</p>
<p>地域クラブ活動 推進室長</p>	<p>皆さん、こんにちは。学校支援課の藤田と申します。私からは、中学生のための地域クラブ活動推進方針についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。</p> <p>資料は、左上ホチキスで留めてあるものです。この推進方針は、将来にわたり子供たちがスポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保に向けた本市における基本的な方針とスケジュールなどについてまとめています。時間の都合がありますので、特にというところのみ説明させていただきます。</p> <p>それでは、2ページから4ページには策定の背景が記載されています。後ほど御覧ください。</p> <p>5ページ以降は、具体的な取組を記載しました。6ページ、(3)、実施主体を御覧ください。タブレット端末やスマートフォンからクラブを検索できる団体リストには、現時点で約150クラブの情報が掲載されています。部活動に設置されていた活動だけでなく、多様なクラブの情報が掲載されています。地域クラブ活動の体験会については、来年度も主に小学生、中学生とその保護者を対象として各区での開催を予定しています。今年度は出展するクラブの種目数や来場される方の人数にばらつきがあるといった課題もありましたので、周知方法を工夫したり、内容の充実を図ったりして、さらに有意義な体験会となるよう準備を進めていきます。</p> <p>(4)、指導者についてです。指導者リストは、新潟県とも連携をしています。現在の登録者数は、新潟市と新潟県のリストを合わせると55名です。指導者リストを見たクラブから問合せがあり、紹介したところ、マッチングが図られた例もありました。</p> <p>7ページを御覧ください。(5)、活動場所についてです。地域クラブが中学校施設を利用できるようにするため、市内全ての中学校の職員玄関、体育館玄関、武道場入り口に地域クラブ活動用のキーボックスを設置しました。平日17時から19時、休日9時から19時までを地域クラブが中学校施設利用できるように準備を進めています。</p> <p>(6)、地域クラブの設立支援についてです。今年度より、円滑なクラブ設立のため、新潟市独自の補助金制度を創設しました。これまで多くのクラブから申請があり、補助金を交付しています。</p>

	<p>クラブからは、指導者謝金に対する支援はありがたい、補助金があることでクラブを立ち上げやすいという声がありました。来年度も同様の補助を行います。</p> <p>8ページ、9ページには生徒、地域、学校にとって期待される効果をまとめました。</p> <p>最後、10ページには大まかなスケジュールが記載されています。</p> <p>この推進方針には記載されていませんが、来年度、コーディネーターを学校支援課内に配置し、クラブ設立の支援、子供への支援を充実させていきます。</p> <p>現在、スポーツ庁、文化庁では有識者会議をしており、間もなく最終取りまとめが示される予定です。国の動向も注視しながら、この推進方針については随時直していきます。説明以上です。</p>
司会(中島会長)	<p>渡辺課長、藤田室長、ありがとうございました。</p> <p>ちょうど2時ですね。今から20分ほど質疑応答の時間にしたいと思います。ぜひご質問なり、ご意見なり、ご感想なりございましたらお願いをします。</p>
渡 邊 委 員	<p>ご説明ありがとうございました。渡邊と申します。先ほどご説明いただきました中学校の施設利用についてなのですが、現状、秋葉区でも進められていると思うのですが、部活動が位置付けとしては社会教育になりますか、それとも学校教育になりますか。それとも、家庭教育になりますか。</p>
地域クラブ活動 推進室長	<p>ご質問ありがとうございます。部活動は学校の教育活動です。</p>
渡 邊 委 員	<p>ありがとうございます。</p> <p>現在進められているクラブ活動について、保護者が最終的に鍵閉めをするようにと学校の教職員の方からご指導を受けているという声を聞いております。そうすると、保護者が最終的に鍵閉めということになると、ちょっと責任が重たいと思うので、そこら辺のルールを確認していただけるとよいかなと思いました。以上です。</p>
地域クラブ活動 推進室長	<p>ありがとうございます。実際には保護者の方が鍵を閉めているのかもしれませんが、保護者の方であり、地域のクラブの方とい</p>

	<p>う位置づけです。学校のほうとクラブとでキーボックスの暗証番号など、鍵の開け閉めのことについて同意書を交わしながら、学校の細かなルール、学校ごとにルールも変わってきていますので、そういったものを交わしながら確実にやっているところです。</p>
司会（中島会長）	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>では、私から渡辺課長に幾つかございます。教育振興基本計画なのですが、これは8年間にわたる新潟市の教育のグランドデザイン。これが策定されることによって、今後、スポーツの振興計画であるとか、あるいは生涯学習の推進計画といったものが方向付けられていく、とても重要なものだと思うのですが、この策定のプロセスにおいて、新潟市は、たしか令和4年に子ども条例を制定しています。子ども条例の内容というのは、柱の中にこどもの意見表明権、そしてこどもの社会参加権、これが示されています。この策定のプロセスにおいて、例えば他の自治体が行っているようなこどもに対する、アンケートは当然やっていることとして、ヒアリングであるとか、あるいはキッズインタビューであるとか、そうした形でのこどもの生の声、現場の声を吸い上げるようなことというのは行われましたでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>ありがとうございます。今お話がありましたように、令和4年に子ども条例を策定いたしまして、実は市長部局、こども未来部というところで、我々と同時並行で、こども計画というものを今年度策定し、令和7年度から同じくスタートしております。このたび、こどもたちの意見聴取をどうするかということもあったのですが、こども未来部と一緒に幾つかの中学校にお声をかけさせていただきまして、中学生の方から学校教育や、地域との関係であったり、そういった声を聞かせていただいたところでございます。それらを踏まえまして我々も策定をしたつもりでございますし、実は、今日お持ちしているのは概要版なのですが、本冊の中にはそういった内容につきましても記載をさせていただいておりますので、もしお時間があればご確認いただければと思います。ありがとうございます。</p>
司会（中島会長）	<p>それと、幾つか基本施策が示されておるのですが、やはり新潟市、防災教育は大きいものがありますよね。防災教育、災害安全と</p>

	<p>いうのもあるし、また本当に痛ましい事故が過去にあったりもしました。そうしたことでの安全教育といったものが「にいがた学びのコンパス」の中でどのように位置付いていて、今後どのような見通しをもって展開していくのか。実は我々自治協委員、私も含めて防災教育に対して大変関心をもっているものが多くございますので、ぜひその辺りを教えてください。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>ありがとうございます。いわゆる防災の視点というものは、様々な視点があると思います。そもそも子どもたちの意識を高めるところもあると思いますし、防災のために、防災、防犯もあるかもしれませんが、そのためには、いわゆる子どもたちだけではなくて周りの地域の方々との関係、役割といったところも確認をして学んでいくというところは大事であると思っております。そういったところから、基本計画の中に具体的に防災についてというワードはなかなか出てこない部分があるのですが、防災に限らずいろいろな学びの部分というものが、例えば地域との連携の部分であったり、そもそもの確かな学力といいたましようか、知識、それを高めるところもあると思います。今回この基本計画の特徴ですけれども、今の現行のビジョン、冒頭にお話ししましたように、学校教育、生涯学習、教育行政と、今のビジョンというのが3つの大きな柱になっているのですけれども、今回は意図的に、あえてそういった縦のものではなく、コンセプトで申し上げましたように一生涯を通した学びということで、基本方針4つを学校教育というようなところでくくってはいない形になっております。ですので、一つの取組というものが基本方針のここにも当たるし、ここにも当たるというような、いろいろな性格がありますので、そのようなところを意識しながら、我々行政でもそうですし、地域の方々とも一緒に共有していければと思っております。</p>
<p>司会（中島会長）</p>	<p>なぜそのような質問をしたかという、この自治協でも、第8期だったと思うけれども、子ども防災手帳のようなものを策定して、子どもに向けた情報発信であるとか意識啓発に取り組んできたことが、まさに今の話でいえば横の水平軸での広がりといったものを意識してやっています。他の自治体の教育基本計画を見てみると、防災が明確に、かなり重要度を置いた形で位置付いているにもかかわらず、キーワードとして出てこないということの理由が、</p>

	<p>ちょっと今の説明だと十分理解できなかったのですが。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>まずもって、防災のところについては教育の面というものも大事だと思っております。新年度の予算編成、施策立案の中で、市長部局の中でも安心、安全というところが大きな、三つの柱の中の力点の一つになっております。そこから教育の部分というところもそこに付随した形になるかと思えます。</p>
<p>司会（中島会長）</p>	<p>審議の過程で恐らく委員の方から発言はあったのではないのでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>最初の強みのところで申し上げましたように、今までの困難を乗り越える力というところがありました。有識者会議の中でもそういった視点というものは大事だろうという意見がありました。今回は基本構想、基本計画のことをご説明させていただきましたが、実施計画の中で具体の事業を掲載させていただいております。</p>
<p>森田委員</p>	<p>スポーツ協会出身の森田と申します。藤田さんに要望なのですが、実施主体の中で地域のクラブの数が150掲載されておるのですが、私野球の関係なのですが、それにしてもこの150の中には野球の関係はなかったのですが、指導者も含めて文化関係の部活というのはもう大きな成果を上げている学校もあると思うのです。そういうところは全くやっぱり、実施は8年の4月ということをも明記されているわけですが、そこで今後、この掲載されているクラブとか、今登録が55名、指導者の登録がありますよというふうに聞きましたけど、あんまり進んでいないなという気がするんですが、今後、8年の4月までどのような形で、文化部とか吹奏楽、科学研究部、そういった人たちはどういうふうな流れで頑張ってもらえるのかなというのをちょっと、決意を含めてよろしくをお願いします。</p>
<p>地域クラブ活動推進室長</p>	<p>ありがとうございます。先ほど団体リストには現時点で150のクラブという話をさせていただきましたが、150で満足とは全然思っておりません。もっともっと増やす必要があるなと思っております。毎日のように団体リストの掲載の申請を今受けているところで、日々数が増えていっています。スポーツだけじゃなくて文化</p>

	<p>芸術活動のほうも増やしてほしいということでした。令和8年度に向けて、吹奏楽のクラブであったり、あと子供たち、美術部というのでしょうか、漫画やイラストのクラブも数が増えてきています。実際に、先ほどの中学校の施設のことも関係するのですが、吹奏楽のクラブが中学校施設を使って、放課後であったり、休日活動しているという例もあります。スポーツだけではなくて、文化芸術活動も含めまして、子供たちが自分のやりたい活動に参加できるように準備を進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。</p>
森田委員	<p>よろしくお願いします。また、先生方も3割の人は今までどおり一生懸命やりたいという先生方の意向もあります。そういった人たちの意見も十分考慮して、活発に、4月に向けてよろしくお願いします。</p>
司会（中島会長）	<p>あと5分ほどなのですが、ご発言どうでしょうか。 質問、ご意見、ご感想。 じゃ、坂口さん。</p>
坂口委員	<p>どうもご苦労さまです。一つ私まだ理解していないところがあるので、教えていただきたいのですが、今回こういう計画をつくられているのですけれども、この計画は計画として、それぞれ学校とか、各種団体とか、文化活動、芸術活動に関係する方たちは、実際には実施計画を持っているわけですよね。そういうものというのは、これを各団体がそれぞれその実施計画をつくった上で、その団体に承認をした上で展開をしていくような方向になるのでしょうか。それとも、これは、こういうのがあるよということで、皆さんこれに向かってやってくださいねということで推進していくような形になるのでしょうか。ちょっと私その関係、位置付けがよく分からないので、教えていただきたい。</p>
教育総務課長	<p>この新潟市教育振興基本計画の位置付けにつきましては、まず新潟市の最上位の計画に新潟市総合計画2030というものがございます。その下に各分野の計画があります。先ほど会長のほうからスポーツ、文化というお話がありましたが、実はスポーツ、文化は市長部局の方で策定しているその総合計画の下にあるものになり</p>

	<p>ます。同じくこの教育の基本計画につきましても総合計画の分野別計画の一つという位置付けとなっております。例えば教育の中でいいますと生涯学習の関係とか、読書の関係とかと、いろいろとあると思いますけれども、基本的なその考えというものは、こちらの教育振興基本計画に基づいた形でのものとなります。既にもう実際にあるものは幾つかございますので、例えば次の改定の際に今回の学びのコンパスの位置付けを意識しながら次の改定を迎えるという関係になるかと思えます。</p>
司会（中島会長）	<p>アンケートがご用意されておまして、今日できれば。でも、また後日でもいいですよ、金子所長、補足してもらえますか。</p>
秋葉区教育支援センター所長	<p>よろしいですか。じゃ、連絡を1点させてください。秋葉区教育支援センターの金子です。いろいろ意見、質問等ありがとうございます。発言にまで至らないようないろんな思いといいますか、質問、意見、感想も含めて、ファイルの一番下にアンケートが1枚ありますので、そこに記載いただきたいと思います。本日記載いただけるということであれば、後ろ、お帰りまでに、段ボール、回収ボックスがありますので、そちらのほうに入れていただきたいですし、後日ということであれば後日でも構いません。こちら3階の35番、秋葉区教育支援センターのほうに提出いただければと思いますので、今週までに頂ければと思います。なお、その集約したアンケートについてですが、来年度5月予定の教育ミーティングにてお返しさせていただきたいと思っております。例年ですと5月の自治協議会の中に入れさせてもらっているものなのですが、そういった同様な形が取れるということであれば、そこでまた質問への回答の部分も含めてお返しさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
司会（中島会長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>ちょっと最後に1点いいでしょうか。情報提供なのですけども、南区の自治協議会でたしか今年の2月に、この部活の地域移行に関わって、ちょっと失礼な言い方ですが、新潟市は他県、また他市に比べて出遅れている感があると。かなり南区は懸念すべき事項が多くあるということで、環境面ですね、あと学校単位の学</p>

	<p>校格差の問題とかがあって、例えばさっき出た吹奏楽、文科系の部活の受皿、存続、あとバスの送迎、指導者の確保、受皿団体、秋葉区もちょっとどれぐらいの組織率、現在あるのか分らないのだけれども、そう高くないような感じは受けている。令和8年の4月にスタートです。そうしたことで、南区のほうはそうした懸念、不安が多いということで、市長と教育長宛てにたしか建議書を、御覧になっていると思いますが、秋葉区も実は南区と似た状況がかなりあるということなのです。我々この自治協としては、こどもまんなか掲げておりますので、そうした受皿づくりにおいて、私たちも何らかの対応といたしますか、一緒につくってこうという考えでやっていければという考えでおるのですが、そうした際にやはり情報というのはとても大事なのですが、そうした相談窓口として、これどうしたらいいでしょう。やっぱり教育支援センターでもって、こういうことをちょっと今心配なのだけれども、この先どうだろうかねといったようなところでお話をするということではできませんでしょうか。難しいでしょうか。そういった辺りはどこに話をすればよろしいでしょうか。</p>
地域クラブ活動推進室長	<p>ありがとうございます。地域クラブ活動推進室でもいいですし、来年度コーディネーターも配置しますので、その方でもいいですし、言いやすいところをお願いします。</p>
司会（中島会長）	<p>そうですか。秋葉区の状況についてもそこでいいですか。</p>
地域クラブ活動推進室長	<p>はい。</p>
司会（中島会長）	<p>じゃ、窓口は基本的に一本化されているということでしょうか。部活難民は出さないということの確約というのは難しいでしょうか。努力します、ですよ。</p>
地域クラブ活動推進室長	<p>はい。</p>
司会（中島会長）	<p>分かりました。</p>
地域クラブ活動	<p>現在、新潟市内の中学生は、部活動所属率が約7割くらいです。</p>

推進室長	その子供たちが自分の通える範囲で、今と同じものができれば一番いいですし、今までなかった活動も含めて選択肢が増えるように頑張っていきたいと思っております。
司会（中島会長）	<p>結局、南区で建議が出たというのはやっぱり学校格差、地域格差、どうしてこの学校の生徒は部活に参加できても、うちの地区からは無理だろうというところの恐らく不安や見通しのなさといったものが背景にあるのではないか、もしかしたらそれは、秋葉区にもきっと同じような課題はあると思いますので、今後ともよろしくお願いをいたします。</p> <p>すみません。ちょっと時間になりましたので、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、渡辺課長、藤田室長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、「新潟市教育振興基本計画 ～にいがた学びのコンパス～」につきましたは終わります。</p>